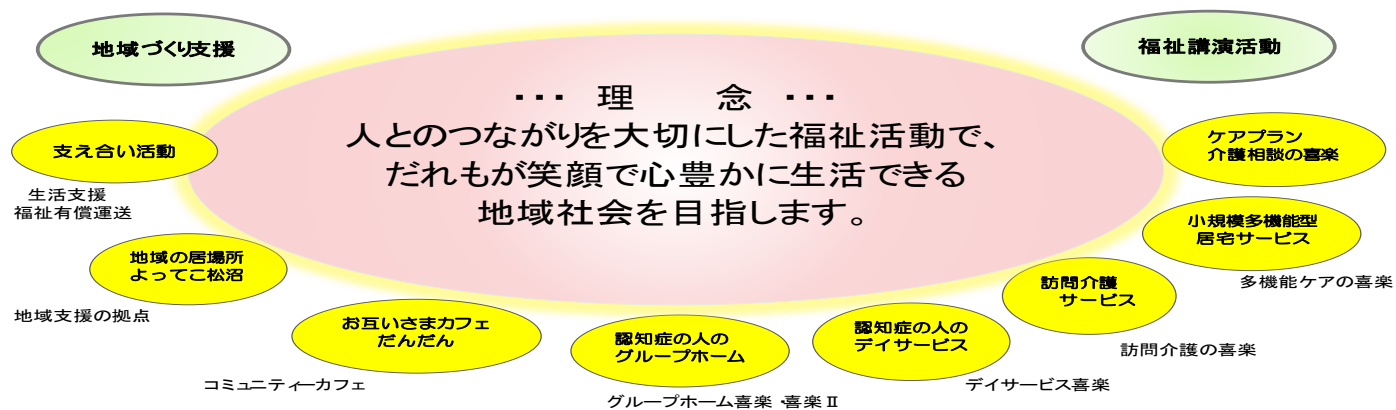


平成30年度 事業報告書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

NPO法人お互いさまネットワーク



法人指針

1. 地域の人から頼られる介護福祉活動を提供するために成長する。
2. 地域の人との交流を深め、当法人の専門性や資源を地域に提供する。
3. 地域の課題やニーズを発見し、地域住民・関係者と連携しながら不足する福祉活動を展開する。

〒374-0057 群馬県館林市北成島町1829-5 代表電話 0276-70-1326 共通FAX 0276-70-1327
<http://otagaisamaegao.net/> お互いさまネットワークホームページ

1 事業実施の成果

部 署	目 標	成 果			摘 要	
会 員	正会員 25名	正会員	23名	計	協力会員のうち、会費未納の人を外したことにより大幅減少となった。	
	協力会員 50名	協力会員	25名			
	利用会員 150名	利用会員	141名			
職 員	31年3月31日現在	正職員	パート	計	グループホーム、デイサービス、訪問介護で、介護職員が不足している。 必要に応じて職員の増加を図る。	
	管理事務	1	1			2
	支え合い活動	1	0			1
	よってこ・カフェだんだん		1			1
	グループホーム喜楽 喜楽II	10	12			22
	デイサービスセンター喜楽	5	4			9
	多機能ケアの喜楽	9	10			19
	訪問介護の喜楽	1	7			8
ケアプラン介護相談	3	1	4			
	計	30	36	66		

法人役員	理事長 恩田 初男 副理事長 増田実保子 理事 鶴田富美夫	理事 佐藤 富代 理事 大沼 節子 理事 原島 秀克	理事 栗原 昭敏 (前北成島区長) 監事 赤坂 一郎
部 署	目 標	成 果	摘 要
法人全体	① 地域の一員として地縁組織や地域活動団体と連携・互助を深める。	北成島区いこいの場にデイサービス喜楽、グループホーム喜楽のお年寄りも時々参加できた。	参加できそうなプログラムの時はほぼ参加できた。北成島生涯学習のふれあい広場に5/12 体験ブース
	② 当法人の活動を定期的に身近な人や地域に発信する。	年3回発行される会報を近隣住民にポスティングした。新たなホームページ作成ソフトを導入し内容が充実した。	4000部程度を3回に渡り近隣の住民に配布した。カラー印刷で作成したので好評だった。
	③ キャリアパスを確実に実施し、社内での人材育成環境を構築する。	事業所の規定やマニュアルなど、担当を決め事業所ごとに他の職員へ伝達講習を行った。	ぐんま介護人材育成宣言認定事業所になった。名刺やチラシにマークを使用した。
支え合い活動	理念「会員相互の支え合いで安心して暮らせる地域社会を目指す。」		
	① 協力会員 50名 利用会員 150名目標 会員拡大のため、支え合い活動のPRとしてチラシやティッシュ等のツールを用いる。	協力会員 25名 利用会員 141名 協力会員は、会費未納者を除いたので大幅減少となった。	名刺サイズの紹介カードをふれあった人に配ることができた。継続してPRツールとして作成し活用していく。
	② 6月…総会報告会のほか 会員交流会（勉強会）を 10・2月に開催する。	6月27日 総会報告会 10月31日 会員交流会 3月20日 会員交流会	交流会初参加の方も、少しずつ増えてきた。次も参加したいと思えるような企画が必須。
	③ チケット販売目標 900円券 3,800枚 450円券 1,400枚 500円券 5,500枚 100円券 7,000枚	チケット販売実績 900円券 3,416枚 89% 450円券 1,574枚 112% 500円券 5,488枚 99% 100円券 5,599枚 79%	チケット販売は、週1、週2の継続利用の方より、単発の利用者が多くなり、時間券の販売目標が伸びなかった。
地域の居場所 よってこ松沼	理念「人とのつながりをつくり笑顔になれるところです。」		
	① 美味しく食べて健康に過ごせる居場所になる。 指導者を確保し体を動かすイベントを定着させる	定食・喫茶の利用者が増加し、賑やかな居場所となった。 体操指導員は月に1回の確保ができた。 書に親しむ会・ハーモニカやオカリナ同好会など、定例で集まることできた。	食事の利用一日平均 13.4食 利用者一日平均 19.3人 松沼・北成島 一日13.2人 市内や邑楽町などから 平均6人 歌声喫茶や朗読会等のイベントに参加する人が増加した。
	② 安心した暮らしが揺らいだときの相談拠点となる。（リストの充実）	紹介リストの充実を図ることについて、進展できていない。	関連先として紹介するような、ニーズを掘り起こすことが出来なかったため、リストの利用はなかった。

	③ 5周年記念事業として「松沼町地域交流フェスティバル」を成功させる	7月22日(日)に行った。猛暑の中、屋外でのイベントは難しいことが分かった。地域の子どもたちや、リーダーたちとの連携はできなかった。	来場者は70人ほどだったが、そのほとんどの人は、松沼町の地域活性化につながる人ではなく、今後にかかせそうな新しい方向性は見えてこなかった。
だんだん	理念「カフェだんだんは、心ゆたかな生活を支える出会いと情報のかけはしです」		
	① 出会いと情報の交流拠点であることを広くアピールする。 ② 昼食として満足できるメニューを検討する。	上毛新聞シャトルや館林ケーブルテレビの取材をうけ、来客数が増加した。人脈が枝分かれしてさらにひろがっている。月ごとの壁面展示で、絵画や手工芸に取り組む人々との交流ができた。 昼食メニューは、ピザトーストのほか、カレー・スパゲティ・やきそばを加えたので来客に喜ばれている。	14人のスタッフで運営。営業は月火水木金の10時～4時 利用者 一日平均9.8人 喫茶利用一日平均8.7杯 軽食利用一日平均5.4食 認知症カフェは、前半2～3名が来客。後半は来客がなかったので、新年度は金曜日の営業時間内に行うことにする。 1月コミクルカフェに会場提供。営業時間外の貸し出しもある。
グループホーム 喜楽の事業	理念 「地域社会の中で人とのつながりを大切にし、その人らしくあなたと共に暮らします。」		
	① ケアポイントの毎日実施	実施の記録をリーダーが毎日カードに記入しながらチェックした。	マンネリ化している傾向が見られるので、もう少し工夫が必要。
	② 認知症サポーター講座に職員が参加しグループホームのことを地域の人に知ってもらう。	ほとんどの職員が認知症サポーター講座に参加している。	新しい職員でまだ受けていない人もあり、今後全職員が講座に参加するようにしていく。
	③ スタッフのスキルアップ。各職員がテーマを決め、他の職員に指導する。(継続)	全職員が、自分の不得手とするところや疑問に思っていることを職員会議で発表し、検証した。	今後も機会を作りながら、スキルアップにつなげていきたい。
デイサービス センター喜楽 の事業	理念 「デイ喜楽は、楽しみをもってゆっくり過ごす、あなたのもうひとつの家です。」		
	① 安定した利用者の確保	毎月、居宅事業所へ空き状況をFAXした。	在宅介護が難しくなり、施設入所される方も多く、利用者の安定とはならなかった。
	② 担当ごとに学習し職員全体の能力を高める。	職員会議として毎月学習した。	担当ごとに責任をもって学習できた。
	③ 利用者さんの声を聴き満足できる支援をする。	日常会話の中から希望を聞いた。	満足できる支援にまでは至らなかった。

多機能ケアの 喜樂の事業	理念 「一人ひとりが主人公 私たちは、あなたらしい生活を地域の中で、ご家族と共に柔軟に支援します。」		
	① 利用者中心の会話を多くすることにより、利用者の「笑顔」「〇〇をしたい」を引き出す。 ② 報連相の徹底 ③ 家族の声なき声に心を傾け、思いを察知する。	職員から自己評価を聞き取った結果、全体的に60%は達成できたことになる。特に①についてはよくできたという評価が多数。③については、家族との接触が少ない職員にとっては難しかった。	入院やご逝去などで一時的に利用者の減少があったが、営業・広報活動や居宅との連携により、少しずつ増えてきている。今後も利用者の獲得に努め、平均で23名を目標とする。
訪問介護の 喜樂の事業	理念「私たちは「笑顔」「安心」「生きる気力」を届けます。」		
	①各自、ヘルパーとしての自覚を改めて意識し、仕事を する。 ②ヘルパー同士の連携を図り 事業所全体のチーム力を高め、サービス向上に努める。	同じ利用者に訪問するヘルパー同士は、きちんと連携が取れ、スムーズにサービスができた。学習会や会議を通してヘルパーとしての自覚の再確認ができたと思う。	ヘルパー全員が事業所に集まる機会が少なく、事業所全体としての連携は十分ではなかった。
ケアプラン介 護相談の喜樂 の事業	理念「介護に係る相談を提供することで地域に貢献する。」		
	① 取得できる加算はきちんと取得する。	担当ケアマネが利用者の入院を把握し連携加算を取得。特別事業所加算は継続。	要支援者の割合が高く、加算に結びつかないことが多い。
	② 介護サービス以外のサービスをプランに取り込む。	配食、支え合い、サロン等利用を勧め、プランに乗せている。	地域の資源の情報をさらに集めていきたい。
③ 毎週の会議を有効利用し利用者全体を把握することができる。	会議の際、ケアマネそれぞれが利用者の抱えている問題等を出し合い、検討している。	利用者が多いので、利用者一人一人を把握することに限界を感じている。	



よってこ松沼 スタッフ会議



救急救命講習会 於：講習室

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
支え合い活動	日常生活で誰かの手助けが欲しい時、会員相互の支え合いで安心して暮らせる地域社会を目指す活動です。	活動日数 351日 延べ活動 3,129回	利用者の 自宅～病 院等 他	協力会員 延べ活動者数 3,243人	何らかの理由によって日常生活で困っている人を支援。 延べ利用者数 3,129人
地域の居場所 よってこ松沼	地域の人々がだれでも気軽に来られ、親しく笑顔になれる交流の場を提供。定食・喫茶のほか、歌声喫茶、書に親しむ会、朗読鑑賞等のイベントを用意。買いものツアー・秋のドライブ唐沢山散策を行った。そのほか 地域交流フェスティバル7月22日	月火木金 の週4日 183日 昼前後	館林松沼町 「よって こ松沼」	担当理事2名 スタッフ 延べ732人	地域の居場所 延べ来所者 3,540人 1日平均 19.3人 松沼・北成島計2,415人 その他市内等計1,125人
お互いさま カフェ だんだん	「こころゆたかな生活を支える出会いと情報のかけはしになる」 壁面展示は、月ごとに変えている。毎月第3水曜日には定例音楽イベントも行っている。地域に休業日の会場貸し出しを行う。 軽食300円・コーヒー等喫茶200円 認知症カフェは毎月第3木曜日午後2時	月火水木 金に営業 10～ 16時の 間 2回	ケアマネ 事務所の 会となり カフェ	担当理事1名 スタッフ 延べ450名 3.5時間 交代 一日ほぼ2人 体制	広く一般にオープンしている。 スタッフは近隣にお住いの ボランティア13名。4月～ 3月で延べ2316名利用 休業日の貸し出しは、 半日1000円 北成島町は無料 月1～2回は貸し切りあり。 認知症カフェとしての来客 はほとんどなかった。
講習事業	地域の介護人材ニーズにあって、安心して暮らせる地域を目指し人材育成する活動。 群馬県人権尊重の社会づくり補助事業の助成金を得て「虐待を考える」フォーラムを行った。 群馬社会福祉専門学校両毛サテライトキャンパスで行われた初任者研修講座に講師として協力。	地域の関連 する25団 体から後援 2月19日 6月14日	行政・専門 学校等への 講師派遣	理事長 恩田初男が 講師として	11月には館林市より生活 援助型訪問サービスの制度 に関する勉強会に講師とし て派遣依頼があり、実施。
グループホーム 喜楽の事業	介護保険施設として、認知症の人へ共同生活住居において、介護や生活支援サービスを提供し、地域との繋がりを大切に して喜びと安らぎを持って生活してもらう事業	365日 24時間	グループ ホーム 喜楽 喜楽Ⅱ	管理者1名 看護師1名 正職介護職 員 8名 パート介護 職員12名 計 22名	認知症のため自宅での生活 が困難な人 喜楽 9名 喜楽Ⅱ 9名 共用デイ 7名 計 25名

デイサービス事業	介護保険において認知症の人の自宅での生活を支えるための通いで介護サービス事業	349日 第4日曜日及び 12/30 から1/2 休み	デイサービスセンター喜楽	管理者1名 正職介護職員 4名 パート介護職員 4名 計 9名	館林在住で認知症のある方 契約者 26.75 名 延べ利用者数 2,902 名 1日平均 8.31 名 泊まり実施 0 日
多機能ケアの喜楽の事業	利用者個別の利用の仕方に対応しながら通所・訪問・ショートステイを組み合わせた支援を行う。新規利用者獲得のために広報活動も行った。ももの木保育園子育て支援センターとの交流会も 5回 行った。	365日 休業日無し	通所、泊り・訪問を組み合わせた利用	管理者1名 正職員8名 パート10名 計19名	柔軟な利用に対応するため 職員の増員を含め、配置を 考えていく。 契約者数 20名
訪問介護事業	介護保険において自宅での生活を支えるために訪問して介護・家事援助を行う事業	365日	利用者の自宅に訪問	管理者1名 (正職員) パート介護職員 7名 計 8名	自宅で介護・家事援助の必要な方 利用者数 48 名 要介護 27 名 予防 21 名
ケアプラン介護相談事業	介護保険において自宅での生活を支えるために必要な介護サービスの提供を利用者等と相談し、サービスの提供を支援調整する事業	365日	ケアプラン介護相談の喜楽事務所	管理者1名 介護支援相談員 4名 計 5名	介護サービスが必要な方 利用者数 121名 要介護 79名 予防 42名
関連事業 認知症の人と家族の会「家族のつどい」事業	公益社団法人認知症の人と家族の会が開催する「家族のつどい」の東毛地域を担当した。認知症の人を介護している家族等の交流を開催。家族の悩みや困り事を共有することによって介護負担の軽減を図る。	15回開催	太田 館林 伊勢崎		認知症の人を介護している 家族等が参加
会報の発行	年3回会報を発行して活動の内容を広報している。多々良地区近隣に4000部ずつ3回のポスティングを行った。会報はホームページからも見ることが出来る。	年3回		会員・サービス利用者のほか多々良地区へ	発行日 30年 7月25日 31年12月25日 30年 3月25日

◎ホームページの更新

10月よりホームページを全く新しく作り替えたので大変見やすくなった。気軽に更新できるシステムになるので、各事業所から写真を提出してもらおうとすぐに、コメントをつけて日常生活をお披露目できる。楽しみにアクセスしているご家族もある。施設のご利用案内にも役立つように今後も内容を充実させていく。

<http://otagaisamaegao.net/> にお気軽にアクセスしてみてください。

(2) 収益事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数
	収益事業の実施はありませんでした。			

3 会議の開催に関する事項

(1) 総会

第19回定時社員総会の開催

- ・日時 平成30年5月10日（木曜日） 午後6時00分～7時30分
- ・会場 NPO法人お互いさまネットワーク お互いさまカフェ「だんだん」
- ・議題 第1号議案 29年度事業報告・収支計算書の報告・監査報告
第2号議案 30年度事業計画・収支予算の報告
第3号議案 公告の方法の変更に伴う定款変更の件
- ・その他

(2) 理事会

事業計画に基づき事業の進捗状況や事業に対する意見や検討を行っています。

理事会はデイサービスセンター喜楽を会場とし19時～21時で開催しました。

	開催日	会議の内容
第1回	30年 6月15日	30年度に取り組む事業について。 管理で正職員1名採用
第2回	30年 7月20日	各部署から。群馬介護人材育成宣言申請。訪問介護交通事故。
第3回	30年 9月14日	虐待に関する講演会事業について。一般介護予防事業の検討
第4回	30年10月19日	5年後ビジョンに基づく小規模特養計画の見直しについて。
第5回	30年11月16日	より良い法人になるための職員からの提案に関して選考結果
第6回	31年 1月18日	5年後ビジョンについて50名特養の募集に応募するか検討
第7回	31年 2月15日	館林市一般介護予防事業への対応を検討（支えあい訪問よってこ）
第8回	31年 3月15日	市の50名特養の募集に応募する件。虐待に関する講演会報告
第9回	31年 4月19日	31年度法人目標について。館林市一般介護予防事業へ参画検討

(3) 責任者会議

- ①行事予定や各部署での課題を担当責任者で共有し、意思統一と部署間の情報共有の会議を行った。
毎月第1火曜日・18時00分～19時00分 12回開催

(4) 支え合い活動

①協力会員総会報告会

30年6月27日	お互いさま講習室	総会報告・事業予定等
----------	----------	------------

②協力会員懇談会

	開催日	会場	内容	参加者
第1回	30年10月31日	お互いさま講習室	「介護保険制度と支え合い活動」アンケート結果	12名
第2回	31年 3月20日	お互いさま講習室	協力会員交流会（食事会）	16名

(5) 「よってこ松沼」

①運営検討会

よってこ松沼の運営に関して行政、包括支援センター、NPO法人などの委員によって検討しています。開催場所は「よってこ松沼」です。

	開催日	会議の内容
第1回	30年8月27日	30年度経過報告 30年度展望と課題（無償運送について）
第2回	31年3月4日	よってこ松沼が地域に認められるために何をすべきか等検討

②スタッフ会議

キッチンスタッフ・デイスタッフによる毎月行事予定、メニューなどの検討を行っています。
「よってこ松沼」で14時00分から、居合わせた利用者さんも 随時参加して開催しています。
地域のために役立つ情報を聴き取り、ちょっとした困りごとの支援につなげていきます。

③広報活動

「館林市広報」の配布に合わせて月に一度、「よってこ松沼イベント情報」を全戸配布しています。
およそ500戸に配布するに当たり、松沼町区長さんをはじめ、役員さんのご協力に感謝申し上げます。
お互いさまネットワークのホームページから、毎月のイベント情報を見ることが出来ます。
ホームページには「笑顔日和」と題して、日記を書いています。毎日更新が課題です。

(6) 講習事業

シニアワークプログラム（介護補助員養成講座）群馬県長寿社会づくり財団からの委託による
1週間コースの講座 ・ ・ 参加申込者が少ないために中止になった。
昌賢学園群馬社会福祉専門学校両毛サテライトキャンパスの初任者研修に講師を派遣して、協力した。

(7) グループホーム喜楽

①運営推進会議

グループホームが閉鎖的にならないよう地域の方、ご家族、行政職員等で運営を検討しています。

開催日	30.5.26	30.7.28	30.9.22	30.11.24	31.1.26	31.3.23

②家族会

GH喜楽・喜楽Ⅱにおいて年2回家族会を開催し、情報交換と家族間の交流を行っています。

	開催日	会場	内容
喜楽	30年 6月30日	あしかがフラワーパーク	家族懇談会パーク内のレストランで食事
	30年12月 1日	お互いさま講習室	スペシャル希望プロジェクト夢
喜楽Ⅱ	30年 7月 7日	行田市「古代蓮の里」	施設内集会室でお弁当の会食
	31年 2月18日	お互いさま講習室	スペシャル希望プロジェクト夢

③職員会議・ケアプラン会議を各々月1回、木曜日20時00分より開催しています。

	職員会議	ケアプラン会議
グループホーム喜楽	12回開催	12回開催
グループホーム喜楽Ⅱ	12回開催	12回開催

④避難訓練

・消防署の立ち会いによる訓練（年2回）

実施日	内 容
30年 6月23日	グループホーム喜楽Ⅱ 夜間想定訓練
30年11月24日	グループホーム喜楽 夜間想定訓練

- ・自主避難訓練 毎月グループホームで夜間想定、他の部署では昼間の火災想定で実施

実施日	実施日	実施日	実施日	実施日
30年4月28日	30年5月26日	30年7月28日	30年8月25日	30年9月22日
30年10月27日	30年12月22日	31年1月26日	31年2月23日	31年3月23日

(8) デイサービスセンター喜楽

- ①運営推進会議 30年7月28日と31年1月26日にグループホーム・多機能ケアの喜楽と同時開催で行った。
- ②家族のつどい 家族とデイでの利用者の様子や自宅での困り事などの情報交換を行っている。

開催日	会場	内容	参加者
30年6月16日	カフェだんだん	認知症カフェ「オレンジカフェ」として	ご家族 6名
30年11月17日	カフェだんだん	ご家族の苦労や悩みを聞かせてもらう	ご家族 6名

- ③春と秋の行事 利用者と職員で外出を楽しむ

開催日	内容	参加者
30年5月21日～5月23日	アゼリアモールめん小町に楊枝入れを届けショッピング	利用者 全員
30年6月1日～6月7日	菖蒲まつり鑑賞をかねた歩行訓練を3日に分けて交代で外出	職員 全員
30年9月20日～9月26日	彼岸花鑑賞をかねた歩行訓練3日に分けて交代で外出	利用者 全員
10月17日～10月19日	外食 カフェだんだん カレーライス・アイスクリーム	職員 全員

(9) 多機能ケアの喜楽

- ① 職員会議 毎月1回 12回
- ② 家族会 2回 8月26日（10家族が参加） 2月14日（インフルエンザ流行のため中止）
- ③ 運営推進会議 グループホームと合同で開催 年6回

30年5月26日	7月28日	9月22日	11月24日	31年1月26日	3月23日
----------	-------	-------	--------	----------	-------

(10) 訪問介護の喜楽

- ① サービス内容検討会 利用者に関わりのある訪問員で支援内容を検討しサービス向上に繋げる。

開催日	開催日	開催日	開催日
30年6月13日	30年9月12日	30年12月12日	31年3月13日

- ② 職員会議 毎月第4水曜日 18時～20時で開催 利用者の状況確認、日程等を調整する。

(11) ケアプラン介護相談の喜楽

- ① 地域個別ケア会議を 今年度は5回開催しました。
様々発生する困難な事項について、関連機関・地域の人たちと共に検討する会議です。
必要とあれば警察・消防・地区民生委員・近くのお店・ご近所さん等にも参加して貰います。
- ② 職員会議 毎月月初めに 16時～18時 12回開催しました。
- ③ 毎週金曜日定例会議として、全利用者を全職員が理解するために情報を共有しています。

(12) 慰問ボランティア来所

毎月慰問ボランティアの人に来てもらいグループホーム・デイサービス利用者の楽しみになっている。

会場 お互いさま講習室

開催時間 14時～15時 (餅つきは午前9時から)

開催日	担当部署	内容	ボランティア数	参加者+スタッフ
30年4月9日	GH喜楽	大正琴の演奏 廣浦さん・横川さん	2名	各事業所利用者 + スタッフ
30年5月23日	GH喜楽Ⅱ	マンドリン・ギタークラブすまいる	10名	
30年6月18日	デイ喜楽	和楽 船山さん民謡・童謡・演歌	5名	
30年7月10日	多機能喜楽	染谷益男さんひょっこり	1名	
30年9月4日	GH喜楽	中止(訪問予定の方の都合)		
30年9月28日	GH喜楽Ⅱ	赤羽アコーディオンクラブ	4名	
30年11月3日	デイ喜楽	川島依子バレエジャズダンス教室	6名	
30年11月27日	多機能喜楽	田沼京子・島田トモ子エレクトーン歌	2名	
30年12月9日		餅つき ご近所～ご家族のお手伝い	多数	
30年12月27日	GH喜楽	アコーディオン飯田さん 演奏と歌	1名	
31年1月31日	GH喜楽Ⅱ	リコーダーアンサンブルPQ演奏と歌	4名	
31年2月21日	デイ喜楽	歌声三好会アコーディオン演奏と歌	4名	
31年3月28日	多機能喜楽	館林女子高等学校吹奏楽部演奏とうた	16名	

ボランティア訪問写真



館林女子高等学校 吹奏楽部演奏



「和楽」の演奏と歌



よってこ松沼 歌声喫茶にぎやかに



「カフェだんだん」で 月に一度のライブ演奏実施